

山田勝次郎 （経済学者） 明治二十年十月七日群馬縣生まれ、昭和五十七年歿（一九七一年）。筆名圓山重次、柏崎次郎。大正十一年東京帝國大學卒。十四年京都帝大助教、昭和五年日本共產黨シンパ事件で退職。翌年プロレタリア科學研究所入り、七年の檢舉に連坐。爾來野に在りて所謂講座派の論客として活動。戦後民主主義科學者協會の創設運営に參加。高崎倉庫會社社長。政治學者嶺山政道の實弟。

譯著書、グイゴドゲンスキー著『農業政策』（東畑精一共譯、大正十二年七月、二十日岩波書店）、『マルクス資本論』（柏崎次郎名、昭和十一年十一月、二十五日岩波書店）『大思想文庫』、再刊一本名、二十一年十一月十日岩波書店）、『米と蠶の經濟構造』（昭和十七年二月七日岩波書店）、『地代論』（昭和二十二年五月二十日岩波書店）『岩波全書』等。